

視察2 トスカーナ州政府 農業・農業発展部との意見交換

1. 視察日程等

- 日時 2019年10月14日（月）
- 視察先 トスカーナ州政府
農業・農業発展部 農業全般・野菜・畜産物の生産及び振興課
- 対応者 責任者 ジェンナーロ・ジルベルティ氏

2. 研修内容

トスカーナ州は、質の高い農作物・畜産物及びそれらの加工品を産出することで、世界的に有名であり、ブランディングにおいては、成功事例として挙げる事ができる。

今回、州政府の農業関係部門の責任者であるジルベルティ氏に「トスカーナ州のブランディング」について話を伺い、意見交換を行った。



トスカーナ州のブランディング戦略は、観光客に来てもらうことによる「交流」に重きを置くようにしている。観光客は、トスカーナ州にお金を落としてくれる大事な顧客である。トスカーナ州が自信を持っている「食事」や「ワイン」はまずトスカーナ州に来て味わってもらうことが重要である。観光客がトスカーナ州において、この豊かな自然と共に豊かな食文化を味わってもらうことにより、その品質の良さを理解してもらうことができ、このことにより、旅行後も「トスカーナ産」を目にすると、トスカーナの風

景や味わいを思い出し、積極的に手にとってもらうことにつながると考えている。

トスカーナ州は平地に小高い山がある地形が特徴であり、気候に恵まれているため、質の高い農産物が育つ環境である。この環境のおかげで、多くの特産物を産出してきている。

《トスカーナ州の特産物》

ブドウ（ワイン）、オリーブ（オリーブオイル）、穀物（シリアル）、野菜、フルーツ、トマト、牛肉、羊のミルク、キアーナ牛（有機）など

これらの特産物をいかにブランディングしていくか、これは「品質の維持」が非常に重要な問題であると考えた。そこで、まず重視したのは「DOP（Denominazione di Origine Protetta）」と「IGP（Indicazione Geografica Protetta）」の取得である。

【DOP】原産地名称保護制度
定められた地域原産品を定められた製法で生産・加工・調整されたものに対する認証制度

【IGP】保護指定地域表示
生産・加工・調整のいずれか、もしくは全てが限られた地域内で行われているものに対する認証制度



なぜ、「トスカーナ産」を世界的に認められるブランドにするには、「美味しい」だけでなく、「品質」にこだわる必要があると考えたか。それは、「メイドイン トスカーナ」＝「品質が高い」とイメージされるようになることが、一番の近道である

と考えたからである。「メイド イン トスカーナ」が他の地域の生産物と差別化されることこそ、ブランディングになる。これは、現在成功していると考えている。もちろん、DOP と IGP のみでなく、「BIO (有機栽培)」も重要である。現在、イタリアのみならずヨーロッパでは BIO の製品は通常の製品よりも高く売れる傾向にある。このことは、有機栽培に取り組む農家を増やすことにつながり、結果として、農業全体が有機栽培にも積極的に取り組み、より一層の品質維持を図ることとなる。

このような取組の結果や文化財の多さが功をなし、観光業における収入は現在119億ユーロにとなっており、アグリツーリズムはイタリア国内で一番多く約5000戸、ベッド数は約7万5千台となっている。「エノガストロミオ(土地の物を食べたり飲んだりする経験)」が目的の観光客からイタリアにおいて一番人気があるのがトスカーナとなっている。なお、トスカーナ州を旅行する人の24%はエノガストロミオが目的であり、これはロコミ効果もあると考えている。今後は、ワイナリーやワイン販売をするところの整備を進めることとしており、古いワイナリーなどの建築物などを見てもらうツアーも検討している。



トスカーナ州のブランディングについての説明を受けたのち、佐賀県農業全体の状況を説明し、嬉野市と小城市のブランディングの状況と課題について説明した。

ジルベルティ氏より、「コラボなどはブランディングとしてはとても有効である。しかし、一番大事なことはアイデンティティであり、アイデンティティを求めて消費者はその土地を訪れ、商品を購入したりする。できれば、その商品を買うべき理由を3つ作るように心がけるとよいと思う」とのアドバイスをいただいた。

3. 所感

ブランディングにおいては、世界のトップクラスを走るトスカーナ州の考え方や取組を伺い、その「品質」への強いこだわりを感じた。「多くの人に理解してもらえなくてよい、たった一人でもトスカーナブランドを理解してくれる人のためにより良い品質を追求したい」とのジルベルティ氏の言葉は、トスカーナ州でお会いした生産者の方々にも共通しているこだわりでもある。

佐賀はトスカーナ州と同じく、温暖な気候と佐賀平野また有明海や玄海灘などの多くの自然の恵みを受け、良い品質の生産物を多く作り出している。この品質をいかに維持するか、またこの品質の良さをいかに伝えるか、品質の良さはトスカーナ州にも負けないはずであり、私たち行政がいかにブランディングをしていくかである。トスカーナ州の成功事例を参考にしながら、改めて考えていきたい。